

第2回地域協議会推進市民会議グループワーク結果を受けた課題整理表

① 各グループの課題・意見

グループ名	新規地域協議会を立ち上げる上での課題	設立済地域協議会の活動の活性化に伴う課題	課題解決方法（主な意見）
A	<ul style="list-style-type: none"> 意見のまとめ役などリーダーシップを取る人がいない 何から始めたらいいかわからない 地域の課題が共有されていない 地域活動に参加する時間が取れない 市、市議会議員の推進意欲が弱い 	<ul style="list-style-type: none"> 役員のなり手がいない 後継者の育成 イベント参加者が固定している 地域課題が明確になっていない 活動を続ける場所がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成のための先進地視察などの研修 若い人への情報発信（SNS）が必要 ホームページの立ち上げ 小学校の空き教室を使う 自主財源を確保し、やりたい活動を行えるように
B	<ul style="list-style-type: none"> 役員のなり手がいない 校区内地域の温度差 認知度が低い 目的が理解されない 一度入ったら抜けられるか心配 広報宣伝活動不足 	<ul style="list-style-type: none"> 活動する人が定着しない 若い後継者が育たない 具体的なメリットがわからない 活動拠点が確定しない 区が行っている事業との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 区長OBの参加 他の地域協議会との情報共有 回覧板、掲示板を活用し、情報を周知する ブログなどを活用する 楽しそうと思えるような活動を行う
C	<ul style="list-style-type: none"> 小学校区でもともとつながりがない 区長に頼らずに役員を集める必要がある 学区内に多くの区があり、温度差がある 役員のなり手がいない 地域協議会を知らない、住民の理解が得られない 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会が認知されていない 専用の事務所がない 他の行事との兼ね合いを考えていない 役員のみで運営を行っている 活動の継続が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 地域協議会の説明を区単位で行う 全体への広報が必要 地域協議会ホームページの作成 事前に地元のイベントを把握する いろいろな団体を巻き込む
D	<ul style="list-style-type: none"> 担い手、役員のなり手不足 活動イメージが沸かない、活動の負担感がある 学区と地域協議会の区分けの違いによる温度差 地域協議会の必要性、緊急性が理解されない 既存団体との関係 範囲が広く、学区内の区の数が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体との連携がない 地域協議会の認知度が低い 後継者の不足 活動拠点の確保が必要 他の団体との調整 イベントの参加者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 認定制度の創設 各団体活動者OBへの協力を呼びかける ホームページ、SNSなどで活動のPRをする 既存活動団体との調整 学校の空き教室や空き屋の活用 地域協議会の必要性を学ぶ

② 各グループイチョシ提案

番号	課題解決のためのイチョシ提案	グループ名
1	地域協議会とは、今一度分かりやすく力強くPR	A
2	行政のお困りごと情報を参考にする	
3	地域で活動する各既存団体との連携！	
4	役員選出⇒まず区長に内容、目的を知ってもらう	B
5	認知度アップ⇒ブログ、新聞、回覧板	
6	実績⇒他市町、他の地域協議会	C
7	地域協議会で何をやるかではなく人が集まるのが大切	
8	区長が引退後順番制で役員になるようにする	
9	全体への広報活動	D
10	必要性をPRし隊	
11	認定制度の策定	
12	空き教室・空き屋の活用	

③ 設立済地域協議会からの制度に対する意見・提案

※（前回資料）資料1 地域協議会活動状況調査票より抜粋

協議会名	番号	意見・提案内容
① 陶小学校区地域協議会		・特になし
② 篠岡小学校区地域協議会	I	・各協議会固有の活動は重視する必要があるが、共通するベースラインを策定し活動内容に齟齬が出ないような配慮が欲しい
	II	・各年度当初で補助金を予算化することは必要ではあるが、年度途中で追加予算化できるように配慮してほしい
③ 小牧原小学校区地域協議会	III	・組織が継続していけるような役員制度について提案してほしい
	IV	・日常の細かい活動資金について柔軟に対応できるような方法を提案してほしい
④ 大城小学校区地域協議会		・準備委員会の段階で、交付金がいただけるような仕組みがあるとよい
⑤ 本庄小学校区地域協議会		・地域協議会設立前に準備のための資金がもらえるようにしてほしい（準備委員会の会場代やお茶代、設立総会時の催しに係る費用など）
⑥ 味噌小学校区地域協議会	V	・地域協議会設立前に準備のために資金がもらえるようにしてほしい（準備委員会の会場代やお茶代、設立総会時の催しにかかる費用など）
	VI	・今後の地域協議会予算を決めるにあたって、助成金以外の自主財源（企業からの寄付金や、バザー等を開催した際の売上金）を含めた経理方法を具体的に説明してほしい

イチョシ提案・地域協議会からの意見等を受けて課題解決に向けてできること

カテゴリ	提案番号	課題解決に向けてできること	実施者
① 担い手不足	4	◆地域のリーダーとなる方の掘り起こし	地域協議会
	7,8	◆区長又は区長OBへの協議会への協力要請	地域協議会
② 協議会の認知不足	1,5,9,10	◆地域協議会未設立の校区への積極的な説明・PR ◆HP、SNS、ブログ等を使った広報活動	地域協議会
	11	◆ 地域協議会認定制度の策定	市
③ 協議会活動の課題	I		市
	III,VI	◆地域協議会制度方針の見直し	市
	II,IV,V	◆地域助け合い交付金交付要綱の見直し	市
④ 既存団体との連携の課題	2	◆行政が把握している地域の課題の情報提供	市
	12	◆活動拠点について教育委員会・市関係機関との調整	市
④ 既存団体との連携の課題	3	◆（仮称）地域協議会代表者会議の設置 ◆地域で活動している団体、協力者の洗い出し、情報共有 ◆他の地域協議会との情報共有	市・地域協議会